

愛知県資料を焼成した窯は光明池地区か。大鳥郡と和泉郡の境界。

郡里（郷）の枠組みで知識を組織。和泉監知識経と同様の組織原理。

（知識経は移動可能なので奥書に郡里名を明記する必要あり。）

土塔の場合も郡里名なしの人名瓦に大鳥郡以外の者（郡を越えた者、律令国家に把握されていない者）が含まれている可能性あり。

知識集団の自己認識はあくまで郡里（郷）

#### 3-3-4 小結

従来、行基の信仰集団の中で、伝統的政治力を有していた郡司層の重要性は指摘されていたが、知識を組織する単位が監（国）郡郷（里）であったことは議論されず。

行基のみならず民間の知識において、自己の組織を行政単位とは別の自律的信仰組織（例えば〇〇講）として認識していたわけではない。自己認識は国・郡・里。

行基集団を個々人の帰依に基づいて成立した第二次的な集団とみる評価（石母田 1973）があり、それ自体は妥当としても行政単位とは別の新たな組織を自覚的に作り上げたわけではない。

土塔造営はあくまで行基の事業で、律令行政機構は関わらないが、行基は行政単位の枠組みを利用。

#### おわりに

天皇発願の寺院における造瓦と氏寺など民間における造瓦

技術の融通、製品の融通

天皇主導の知識により、天皇の下に動員。